



冬の足音

長かった夏も終わりを告げ、コスモスの花、金木犀の薫る秋が足早にやってきて、朝夕は肌寒く感じる今日この頃です。今年も残り僅かとなりましたが、「鬼宿(きしゆく)」の年と挙げたとおり、様々な変化が起きる年となりました。先の衆議院議員選挙では自民党が大敗しましたが、政権交代に至るかは微妙な情勢。夏の参議院議員選挙が本番といえそうです。今月の米国大統領選挙を経て、もう一波乱あるのかもしれませんが。

世界情勢もまた混乱しています。イスラエルが対ヒズボラに対抗してレバノンやイランと交戦し、中東リスクが高まっており、それにも増して景気後退懸念が高まっています。物価高が続く中、なかなか明るい兆しは見えてきませんが、大河ドラマ「光る君へ」はまもなく佳境を迎えます。大津市の石山寺(源氏物語を書き始めたとされる地)や京都の蘆山寺(紫式部邸址)もまた今月末には紅葉の見頃を迎えるでしょう。日常の喧騒を離れ、平安朝の歌に触れながら季節の移ろいに身を委ねるの一興かと思えます。

代表取締役 渡邊 裕介

本社移転から6か月

長く本社を構えた熱田の地から名駅へ。約120年ぶりとなる大移動ですが、熱田における地の利は今は失われており、時代の流れともいえます。元あった土地・建物も残したままですが、周辺環境は大きく変わります。移転した5月には他拠点のスタッフも集まり、いけばな雪舟流の次期家元増野光晴氏を講師に迎えて「廻り花」を体験しました。皆個性豊かではありますが、ひとつ形作る作業は新鮮で、なんとか作品にまとまりました。これから新たな拠点、多拠点での活動を通して事業の成長を目指します。



物流2024年問題

働き方改革の一貫で物流業界においても労働規制の波が押し寄せています。石油業界においても4~5月には燃料輸送における基地経費の上乗せ、潤滑油の配送コストの上昇があり、10月以降潤滑油納期の変更が相次いで発生しています。

エンドユーザーの皆様には多大なるご迷惑をお掛けすることとなり、大変申し訳ありません。

しかし、切手・郵便物の値上げもそうですが、配達料無料、翌日配達という時代は終わりつつあり、物流の環境は大きく変わりました。

冬場を迎えて、さらに状況は厳しくなることが予想されますが、窮状をご理解いただき、早めのご注文を頂けますと幸いです。

》 石油製品は中東リスクと為替リスクに左右

原油先物価格は景気後退懸念を受けて下げ基調になっていましたが、中東リスクの高まりからWTIで70ドル/バレル前後で推移しています。販売価格については補助金による激変緩和措置の動向が大きく左右しています。補助金は年末が一区切りとされていますが、選挙後の補正予算の中で今後の方向性が示されるということになります。

国民民主党が提唱するトリガー条項を外すとなると、ガソリンは安くなりますが、産業用燃料(重油・軽油等)はどうなるのかという議論は残ります。引き続き、注視していきます。



※グラフ:資源エネルギー庁より

》 物流 2024 年問題

働き方改革の一貫で物流業界においても労働規制の波が押し寄せています。石油業界においても4~5月には燃料輸送における基地経費の上乗せ、潤滑油の配送コストの上昇があり、10月以降潤滑油納期の変更が相次いで発生しています。

エンドユーザーの皆様には多大なるご迷惑をお掛けすることとなり、大変申し訳ありません。

しかし、切手・郵便物の値上げもそうですが、配達料無料、翌日配達という時代は終わりつつあり、物流の環境は大きく変わりました。

冬場を迎えて、さらに状況は厳しくなることが予想されますが、窮状をご理解いただき、早めのご注文を頂けますと幸いです。

》 みなとアクルス ES の閉鎖

東邦液化化ガス「みなとアクルス・エコステーション」は2025年3月31日をもって営業を終了することが決定しました。

ご利用いただいている皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

脱炭素の先端技術として水素ステーションの普及は大きな課題となっています。

一方で、LPG車はなかなか普及が進まず、定着していたタクシー車両にあっても、今ではガソリンハイブリッド車や電気自動車、ガスと電気のハイブリッドであるJPNタクシーへの移行が進んでおり、車体も様々に変わりました。

自動車燃料がひとつの形に収斂されていくのか、あるいは多様性を保ったまま進むのか。今後の産業においても大きな分岐点だと思います。

